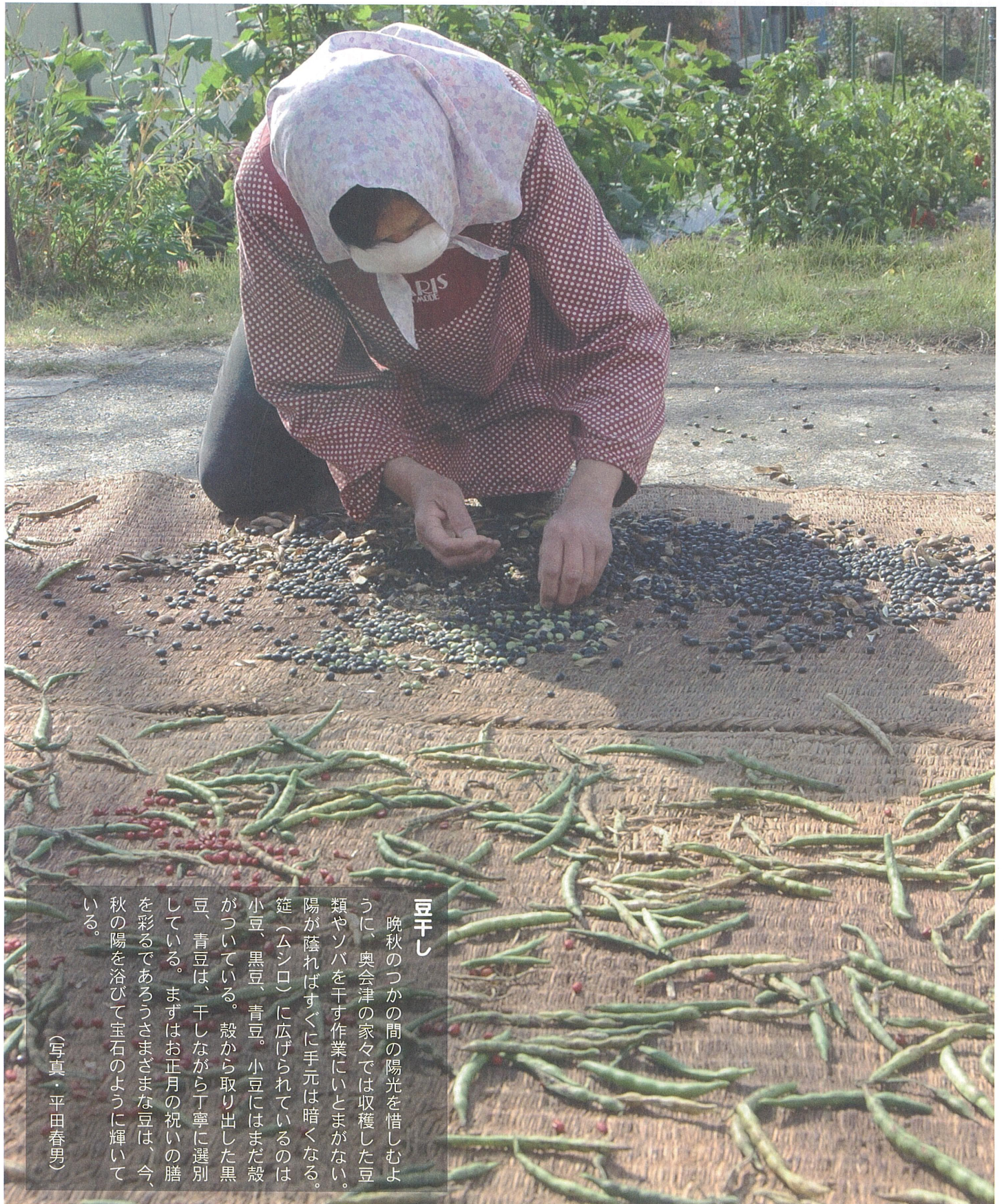
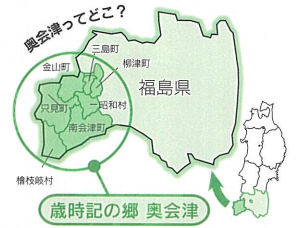


# 奥会津だより



## 豆干し

晩秋のつかの間の陽光を惜しむように、奥会津の家々では収穫した豆類やソバを干す作業にいとまがない。陽が蔭ればすぐに手元は暗くなる。筵（ムシロ）に広げられているのは小豆、黒豆、青豆。小豆にはまだ殻がついている。殻から取り出した黒豆、青豆は、干しながら丁寧に選別している。まずはお正月の祝いの膳を彩るであろうさまざまな豆は、今、秋の陽を浴びて宝石のように輝いている。

(写真・平田春男)



こども聞き書き百選『じいちゃんありがとう』より

# ばあちゃん(湯田トミエ(昭和5年生まれ)の造った橋

湯田 あかね★南会津町立館岩中学校二年

これなあ。この写真なあ。橋作る時はなあ、一輪車は

ばあちゃんが20歳ぐらいだったかなあ。上郷小学校の前で作ってえ、砂だの石だのいな、森戸橋を造っただあ。作る前はなあ、昔だぞ。下がパカッて開くようになって、そこに石だのいれて運

行っただあ。大変だったあ。みんなあの時は長くつな

あそこはな、あそこは川で、てなかつたからあ、地下たび

ろかつたなあ。

ばあちゃんの話聞いて、

上郷小学校につながっている橋は、ばあちゃん達が造った

私のばあちゃんの家から八

が多くて大変だったと思います。

ばあちゃん達が造ってくれた橋のおかげで、私達はすぐ歩いていけるようになりました。

橋を造ってくれたばあちゃん達に、私はとても感謝したいと思います。



## 取材ノート

をしたことはあった。川の広さは今の三分の一位

昔は雪降ると、朝早く家で、かじか取りをやった。

を出て雪の中みんなして今役 工事は、木で箱こぎえても

場ある松戸原(まつとうのはら)で、針金で押さえて前

ていうから、ばあちゃん若い 夏で、針金で押さえて前

時、学校橋(森戸橋)作った はズックだの無かつたから、

話をした。隣の人は友達だよ 夜ばあちゃんに藁で草履編ん

って、若くして亡くなつてし てもらってそれ履いて行つた、

まった……。 夕方帰りに草履の後ろの方

私は、森戸の生まれでここ セメン(セメント)など運ぶ

で育つた。 日しかもたないから、夜なべ

孫に、時々、写真見せて話 ばあちゃんが作ってくれた。

冬は藁長靴履いて、道も何も 無いところを男の人達と交代

Q:「じいちゃんありがとう」 交代で道をつけながら歩いて

行つた。そうすつと、授業は どうでした? が出版されて、手に

2時間目が終わつていて、3 A:よくばあちゃんの写真め

時間目から受けた時があつた。 ついで(見つけて)、あかね、

先生は怒りもしねえで、授業 良くやつてくれた。涙出るほ

していた。 ど嬉しかった。息子も喜んで

その橋(森戸橋)作る前 だ。湯田トミエさん談 文責:菅 敬造

(18歳から20歳ぐらい)な、

2年ぐらい伊南の製糸工場さ

行つた。絹糸、繭の糸取り

な。日当は250円位だつた



写真:現在の森戸橋



写真:湯田トミエさん

## 奥会津 つれづれ

周りの山々の紅葉も落葉をはじめ、秋の終わりを感

になりました。

先日、保育所、小学校の子

もたちが自分たちで育てた米

収穫している姿を目にしま

奥会津の食は豊かで、小さい

に米や野菜の栽培・収穫を体

し食べた記憶は一生の宝物にな

ると思えました。

これからは奥会津も厳しい寒

さとなりますが、子どもたちの

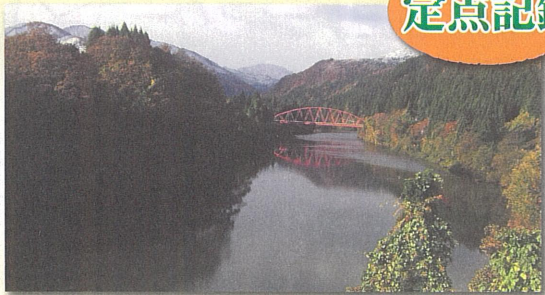
元気な姿が奥会津の地に元気を

与えてくれることを願ってい

ます。(Y)



## 定点記録



写真：事務局のある三島町役場より程近い  
只見川（平成21年11月3日 8:45）

## 奥会津水物語



写真：山浦芳明  
尾瀬に発した伏流水は、苔を縫うように沢を駆け下り、やがて  
只見川を成す。（檜枝岐村）

## カヤボッチ

秋の野に点々と立つ丈高い不思議な形に束ねられた枯れ草は、「カヤボッチ」と呼ばれるカヤ（ススキやチガヤなどの総称。地元では背丈以上に伸びる種類をカヤと呼ぶ）の束。雪囲いの資材として、また、越冬させて細かく刻み、堆肥にする。かつては馬の飼料やカヤ屋根の葺き替えなどの必需品で、束ねる数によって飼料と屋根材とを区別して保存していた。カヤ刈り場は、大切な資産だったのである。



## なっかしい風景

写真・文 竹島 善一



現在、このカヤ屋根の民家の跡地には湯八木沢の会館が建っている。  
長靴も一輪車もこの子には大きくみえるが家の手伝いをする。仕事と遊びは一体である。

（昭和52年9月 柳津町 湯八木沢）



# 方言クイズ

クイズに答えて奥会津の  
地場産品を買おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「めっけだ」 ヒント：p2.聞き書きをご参照ください。

正解者の中から抽選で2名様に、柳津町の「ジャムセット」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511  
福島県大沼郡三島町  
大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2009年12月31日消印有効



\*当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。\*クイズの答えは次号55号で発表いたします。

◎53号「にしゃだれ」の答え：あなたたち、あなた方  
たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



## お便り紹介

- 「ばあちゃんに聞く」で記載されている文面が、なまりそのままですごく会津らしさがあり、伝わってくるものがあります。私は、祖父母と生活したことがなく、いろんな経験話を聞ける家庭をうらやましく思っていました。(中略)たまにはばあちゃんと会話をした内容を思い出すことができ、心の中がうれしい気持ちになりました。これからも奥会津の良さや温かい誌面作り楽しみにしています。(会津若松市 K.Yさん)
- 「奥会津だより」初めて読みました! 中秋の名月に供えるものはススキとダンゴだけじゃないんですね! 15種類収穫物を供えるなんて初めて聞きました! (千葉県 A.Aさん)
- 数年前の11月、只見線に乗って車窓から見た紅葉、只見湖の紅葉の美しさを思い出しました。地元の方はもうピークはすぎていると言っておられましたが…。自動車では見られないすばらしい風物が只見線にはあると思います。(東京都 A.Nさん)
- 山椒の実がこのように生っているとは知りませんでした。山椒は「ウナギのかば焼き」ぐらいしか思い浮かばなかったが、「山椒ゆべし」というお菓子になるんですね。甲子トンネルが開通して行きやすくなりました。(白河市 H.Jさん)

## 奥会津だより無料送付のご案内

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局  
TEL.0241-48-5533 FAX.0241-48-5544  
E-mail.webmaster@okuaizu.net

## 11月12月1月 奥会津イベント情報

日時	イベント名	町村名	場所	問い合わせ
11月14日(土)	第18回只見新そばまつり	只見町	只見地区センター	只見町役場産業振興課 0241-82-5230
11月14日(土)午後4時~午後7時	第26回新そばまつり	檜枝岐村	尾瀬の郷交流センター	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
11月15日(日) 午前の部:10:00~12:00 午後の部:12:30~14:30	おおたに新そばまつり	三島町	第1会場:大谷活性化センター 第2会場:圓福寺	おおたに新そばまつり実行委員会 二瓶:0241-52-3416 五十嵐:090-6781-7706
平成21年12月18日(金)~ 平成22年3月31日(水)	只見スキー場オープン	只見町	只見スキー場	0241-82-2304
12月23日(祝・水)	フェアリーランドかねやますキー場オープン	金山町	フェアリーランドかねやますスキー場	オープン前:金山町活性化センターこぶし館 オープン後:フェアリーランドかねやますスキー場 こぶし館:0241-55-3334 スキー場:0241-54-2022
12月23日(祝・水) 8:30~16:30 10:00から安全祈願祭 オープン当日はリフト無料	柳津温泉スキー場オープン	柳津町	柳津温泉スキー場	(財)やないづ振興公社 0241-42-2302
12月26日(土)	会津高原たかつえスキー場オープン	館岩	会津高原たかつえスキー場	0241-78-2220
平成21年12月26日(土)~ 平成22年3月末	会津高原南郷スキー場オープン	南郷	会津高原南郷スキー場	0241-73-2111
平成21年12月26日(土)~ 平成22年3月31日(水)	会津高原高畑スキー場オープン	伊南	会津高原高畑スキー場	0241-76-2231
12月下旬	尾瀬檜枝岐温泉スキー場オープン	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	0241-75-2351
1月1日(祝・金) 1日~3日まで 道の駅「会津柳津1」~柳津温泉 無料シャトルバス運行	元朝詣り	柳津町	福満虚空蔵尊圓蔵寺	柳津観光協会 0241-42-2346
1月7日(木)20:30~21:30	七日堂裸詣り	柳津町	福満虚空蔵尊圓蔵寺	柳津観光協会 0241-42-2346
平成22年1月24日(日)	第37回只見毎日杯GS大会	只見町	只見スキー場	0241-82-2304

## 各地で伝統行事が行われます。(小正月・1月15日)

サイノカミ：1月15日(金)各町村

只見川電源流域振興協議会事業  
第13回歳時記の郷・奥会津

フォトコンテスト作品募集

期間：10月上旬~  
締め切り12月7日必着

部門：自然風景・郷土文化部門、  
思い出スナップ部門

問合せ：(株)フレームマン・フォトテクノ  
☎03-5638-2217

場所：奥会津地域内(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷地区・伊南地区・館岩地区)・檜枝岐村)で撮影された作品



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村・只見町)  
発行日：11月10日発行(年5回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町役場産業建設課内 TEL.0241-48-5533  
http://www.okuaizu.net webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。